

令和6年度 学校経営方針

令和6年4月1日
調布市立第六中学校長

1 学校の教育目標

- 自ら学び,考える生徒
- 命を大切にする生徒
- 何ごとともやりぬく生徒

2 経営方針と方策

(1)「自ら学び,考える生徒」→ 主体的で創造的な思考力を育成する

- ① 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るため,指導の個別化,学習の個性化を意図的・計画的に推進し,生徒の特性や学習進度,興味・関心に応じた学習活動,探求的な学習や体験活動,多様な協働的な学びを充実させる。
- ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて,学習指導要領の深い理解と適切な指導計画・評価計画に基づき,育成したい資質・能力を明確にした授業改善を常に行い,学習の振り返りや学習ポートフォリオ等を活用して,生徒が主体的に学習を調整できる力を育成する。また,指導と評価の一体化を図り,適切で信頼される評価・評定を実施する。
- ③ 調布市研究推進校として,「まなびの森で創る 未来につながる授業」の実現を目指し,「環境づくり」「授業づくり」「関係性づくり」の3つの分科会を核として,生徒が主体となる多様な学びの実現,ICT機器の有効活用,カリキュラム・マネジメントを踏まえた教育活動を工夫し,保護者・地域とも共に学び合える,社会に開かれた教育課程を展開する。

(2)「命を大切にする生徒」→ 人権尊重の精神,道徳性を養う

- ① 共生社会の実現に向け,人権尊重の精神,自他の生命尊重や思いやりの心を醸成するために,人権教育および道徳教育を重視し,教育活動全般を通して豊かな心を育成する。
- ② 不登校を未然に防ぐ魅力ある学校づくりを推進し,温かく共感的な学級経営を基盤に安全・安心な風土を醸成し,生徒理解を深め,生徒が自己肯定感を感じられるよう,発達支持的生徒指導に重点を置く。
- ③ いじめは絶対に許されない行為であるという共通認識のもとで,「学校いじめ防止対策基本方針」に基づき,未然防止,早期発見,早期対応に努め,指導の徹底を図る。
- ④ 特別支援教室拠点校として,特別な支援を要する生徒へのきめ細かな支援,校内通級教室における指導の充実を図ると共に,インクルーシブ教育の理解と推進を図る。

(3)「何ごとともやりぬく生徒」→ キャリア教育を充実させ,自己実現能力を育成する

- ① 社会的・職業的自立に必要な資質・能力を身に付け自己実現が果たせるよう,特別活動および各教科等の特質に応じてキャリア教育の充実を図り,小・中・高の12年間を見通した教育活動を展開する。
- ② 毎週水曜日に「六中タイム」を設定し,よりよく生きることや自己の在り方を考える対話を重視した活動を取り入れ,主権者教育等とも関連付けながら,キャリア教育の基礎的・汎用的能力を育成する。

③ 安全で安心な学校環境を保持するとともに、望ましい食習慣や体力向上を図るために地域や家庭と連携し、組織的・計画的な健康・安全教育を充実させる。

(4) 特別支援教育の充実を図り、個に応じたきめ細やかな支援を行う。

- ① インクルーシブ教育システム構築のため、校内研修会を通して特別支援教育に対する教員の理解を深め、個に応じた支援及び指導の充実を推進する。
- ② 特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会で支援の必要な生徒の支援方法を検討するとともに、特別支援教室専門員等を活用して巡回相談や関係諸機関と連携を図り、個別の教育支援計画や個別指導計画に基づいた指導・支援を行う。

(5) 発達支持的生徒指導を重点とした生徒指導の充実を図り、安全で安心な学校環境を保持する。

- ① 生徒の自己指導能力の獲得を目標に、一人一人の生徒の個性や特性を理解・尊重し、可能性の伸長を目指して、個々に寄り添った発達支持的生徒指導に重点を置いて学校全体および保護者、地域、関係諸機関と連携して行う。
- ② 全体計画及び年間指導計画に基づいた意図的・計画的な学年・学級経営を行い、自己や集団生活の充実・向上を図るとともに、共感的で温かい人間関係を築き、自発的・自主的な態度を育成するとともに、コミュニケーションの基礎となる「聞く力・聞く姿勢」の育成を継続して行う。
- ③ いじめ、不登校、生活指導上配慮が必要な生徒に対して、ガイダンス機能の充実を図り、特別支援教育校内委員会はじめスクールカウンセラーや関係諸機関、小学校と連携を図り、9年間を見通したきめ細やかな教育相談活動を実施する。
- ④ 安全で安心な学校環境を保持するために、学校安全計画に基づいた毎月の安全指導や避難訓練をはじめ、調布市防災教育の日、セーフティ教室、普通救命講習、薬物乱用防止・防煙教室等を通して、危険回避や安全確保について計画的・継続的に指導するとともに、情報モラル教育を推進する。

(6) 保護者・地域と連携し、学校教育活動の活性を図る。

- ① 地域学校協働本部事業を活用し、学習ボランティアを活用した学習支援、英語検定や漢字検定、数学ステップアップ教室や英検直前自習サポート教室等を実施し、基礎的・基本的な学力を定着させる。
- ② 学校評価（自己評価、学校関係者評価）を分析し、魅力ある学校づくりを推進する。

(7) 予算編成・執行の適正化を図る。

① 経費節減と有効活用

従来から執行していた経費等について、より効果的・合理的な方法を検討して経費節減に努めるとともに、学習環境・生活環境を整備し、生徒が落ち着いた雰囲気の中で安全に学校生活を送れるよう、予算の有効活用を図る。

② 計画的な予算執行

「調布市会計事務規則」「調布市学校町集金事務処理の手引」に則り、年度当初から適正かつ計画的に予算執行する。また、説明責任を果たし、公平・公正性の担保に努める。